



## 【あらかわとともに】 発刊記念祝賀会

福島テルサ 3月6日(土)

記念講演終了後、引き続き隣の部屋へ会場を移し祝賀会が開かれた。青山氏、瀬戸福島市長、協議会発足当時の建設省福島工事事務所長の越智氏他多数の関係者が出席し、大いに盛り上がった。



## 荒川フェスティバル 桜づつみ河川公園 5月16日(土)



恒例のフェスティバルに協議会も協力した。役員が多数参加し、事前に掘り上げて保管しておいた、カブトムシの幼虫400匹を土とともに配ったり、風作りを指導した。毎年の事ながら、子供たちには大好評であった。

## あらかわ・ふるさとの川 ウォーキング 四季の里 6月14日(日)



四季の里主催の荒川ウォークに協力。役員がグループの案内をしたり、各ポイントにいて説明を行った。あいにく雷雨があったが盛況だった。

## 荒川大将養成塾

水林自然林付近の雪の中で  
小動物の足跡探検 2月14日(日)

今年度最後の第5回大将養成塾が40名参加して行われた。子供が10名おり賑やかであった。ここ何年か雪なしの冬の観察会であったが、今年は積雪があった。資料室から地蔵原堰堤まで、ゆっくりと歩き、冬の荒川や水林の様子を観察した。新雪でなかったが、ノウサギやキツネの足跡が多数あり、リスの足跡もあった。ノウサギノ足跡の幅が変わった所では、ここで何があったか推理を楽しんだ。水林管理事務所では、高橋さんから説明を聞きながら、シジウカラなどの小鳥の姿をじっくりと観察した。



## 水質・水生生物調査

2009年4月から2010年3月  
3カ所/年4回

荒川の改修工事が環境に及ぼす影響を調べるために、動植物の調査を国交省河川国道事務所から依頼された。仙台の調査専門会社の調査員たちと一緒に協議会の役員も調査に参加した。桜づつみ公園、荒川橋の上下、地蔵原堰堤の3カ所で、季節毎に4回調査した。植物、脊椎動物、昆虫類の種類と数を調べた。詳しい報告書ができていますが魚については清流のアユ、カジカ、カマツカが確認された。珍しいジュズカケハゼや静岡県以西に生息すると言われているカワムツも見つかった。水質調査も行い、きれいな水を確認した。



## 福島県水環境活動団体交流会

10月24日(土)・25日(日)

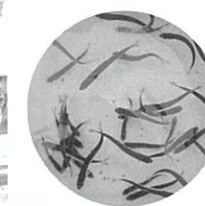


県内の愛護団体の集まりが、持ち回りで開かれている。今年は福島での開催なので、協議会が中心になり運営に当たった。1日目は「サンスカイつちゆ」で開会式。市商工観光部長の柴田氏と福島気象台の菅原氏の講演のあと、各団体の活動報告があった。土湯温泉での懇親会は大いに盛り上がり翌日は荒川源流探検のあと芋煮を楽しんだ。

今年度最後の第5回大将養成塾が40名参加して行われた。子供が10名おり賑やかであった。ここ何年か雪なしの冬の観察会であったが、今年は積雪があった。資料室から地蔵原堰堤まで、ゆっくりと歩き、冬の荒川や水林の様子を観察した。新雪でなかったが、ノウサギやキツネの足跡が多数あり、リスの足跡もあった。ノウサギノ足跡の幅が変わった所では、ここで何があったか推理を楽しんだ。水林管理事務所では、高橋さんから説明を聞きながら、シジウカラなどの小鳥の姿をじっくりと観察した。

## サケ稚魚放流

2010年2月17日(水)



小雪がちらつき少し寒かったが、吉井田小と三河台小の4年生180名が参加。4年目に元気に戻ることを願って、7~8cmに育ったサケの稚魚約3万匹を放流。子供たちは小さなバケツに入れてもらった稚魚を、川の水で手を冷やし1匹ずつ放流した。